総合計画実施計画策定及び行政評価シート

対象年度	令和 7年度

事務事業名	市民文化センター管理運営事業							予算事業名	市民文化センター管理運営経費
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	結城市民文化センターの設置及び管理に関する条例
			10	05	07	0502	経常経費		
総合計画体系	未来を担う子どもと　生き生きした市民を育む地域を目指そう							事業の区分	主要事業
	生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造								
	芸術文化を楽しむ機会の充実							担当課係等	生涯学習課
									文化係
事業期間	継続　（平成 3年度～　　年度）								

【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】

市民の文化創作活動の拠点として、利用しやすい環境を維持し、利用件数や利用者を増加することで、本市の文化振興の発展を目指す。また、開館より約30年が経過したため、老朽化した部分について計画的な改修及び施設機器の更新を行い、安全性と施設機能維持を図る。

【事業開始のきっかけや他市の状況など】

市民文化センターの開館（平成3年度）に伴い、事業化が図られた。

【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】

○指定管理者制度を導入し、指定管理者へ施設の管理や事業の企画運営を委託する。
・令和2年度に、令和3年度～7年度の5年間の指定管理者を選定した。
○設備備品や什器類の更新（購入）を行う。
○老朽化した施設や設備の改修工事を実施し、機能強化を図る。

【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】

・市民文化センター「アクロス」
・施設利用者（市民含む）

【事業をとりまく環境の変化】

本施設の開館を契機として、市民の文化活動に対する体制整備や活動の活性化が進展している。平成18年度より、指定管理者制度を導入し、コスト効率や運用の効率化を図っているが、施設の老朽化に伴う改修経費や維持管理コストの増加が懸案事項であり、他自治体においても同様の状況である。

【令和 7年度　事業内容】	【令和 8年度　事業内容】	【令和 9年度　事業内容】
・指定管理者に施設の管理運営を委託 ・施設や設備の修繕・改修 ・令和8年度から12年度までの5年間の指定管理者の選定	・指定管理者に施設の管理運営を委託 ・施設や設備の修繕・改修	・指定管理者に施設の管理運営を委託 ・施設や設備の修繕・改修

■事業費

		R05年度	R06年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	101,694	122,443			
歳入計（千円）		101,694	122,443			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	10 需用費	990	1,000			
	11 役務費	160	167			
	12 委託料	97,706	121,276			
	14 工事請負費	2,838	0			
歳出計（千円）（A）		101,694	122,443			
伸び率（％）			20.40			
備考	総合計画103ページ　予算書196ページ					

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指　標　名	単　位		R05年度	R06年度	R07年度
活動指標	施設・設備の改修件数	件	目標	1.00	1.00	4.00
	市民の文化活動の拠点として、利用しやすい環境を維持する。		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	文化施設利用者数	人／年	目標	150,000.00	70,000.00	0.00
	市民が文化芸術の鑑賞に触れることや文化芸術活動の場として利用することにより、文化芸術の振興を図る。		実績	82,552.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民の文化創作活動の場として、また、一流の芸術に触れる場として、本市の文化振興の拠点として必要な施設である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	指定管理者制度を導入し、（公財）結城市文化・スポーツ振興事業団を指定管理者として管理運営を委託している。
	手段の妥当性	A 妥当である	指定管理者制度を導入することによって、事業の企画立案や施設の維持管理において、専門的知識を持った職員が継続的に携わることができる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	貸館使用料など毎年一定の収入は見込めるが、開館後30年以上か経過し、施設や設備の老朽化が進んでいるため、その改修にも多額を費用を要している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民だけでなく、市外からも多くの人が利用している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年、多くの一流アーティストが公演を行い、質の高い芸術文化を提供するなど、本市だけでなく、地域の文化振興の拠点としての重要性は高まっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	本市の文化振興の拠点としての役割は十分に果たされているが、施設や設備の老朽化に伴う改修は、財政的にも実施個所が限られるため、十分な進捗状況とは言えない。

総合評価　　上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

施設の管理運営は良好であるが、施設の老朽化により改修に必要な個所は増加傾向にある。したがって、今後、多額な改修費用が見込まれるなど、施設の維持における財政面での課題は大きい。

対応策提言等　この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

『結城市公共施設個別施設計画』に基づき計画的な改修工事を実施し、施設の長寿命化を図るとともに、起債等を充当しながら、市の財政負担の軽減を図っていく。

■方向性

１次評価（１次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

■拡充（人・モノ・カネ等の拡充）　□改善改革しながら継続　□現状のまま継続（改善・改革なし）　□統合・新規事業への展開
□縮小　□休止　□廃止・終了　□予定どおりの要求　□一部改善の上要求　□今回は見送り　□その他の処置

方向性の具体的内容

アクロスは築３０年以上が経過し、老朽化が進んでいるが、文化の拠点施設として長寿命化の方針が示されており、災害時には避難所としても使用する重要な施設であるため、施設の整備や改修に最適な最適な方法を調査研究するとともに、年次計画を立てて効率的に改修を実施していく必要がある。

２次評価（２次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

□拡充（人・モノ・カネ等の拡充）　□改善改革しながら継続　■現状のまま継続（改善・改革なし）　□統合・新規事業への展開
□縮小　□休止　□廃止・終了　□予定どおりの要求　□一部改善の上要求　□今回は見送り　□その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（１次評価者と同じ場合も記入）

財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。